

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-9

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	社会体育団体育成事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				係長
				淡路 至尊
事業の概要	本町の生涯スポーツ活動の中核的な役割を果たしている体育連盟・スポーツ少年団の育成やスポーツを通して地域の活性化や将来の指導者を養成するため、これらに団体の活動に対し、助成するものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	1	推進体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	540千円	540千円	540千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	540千円	540千円	540千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	過疎化や少子化等による加盟単位協会や会員数の減少。		現団体の加盟協会の維持		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	町民の一人でも多くの単位協会への加盟や何らかのスポーツ活動の参加を目指す。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生涯学習スポーツの普及推進、指導者の養成や地域の活性化を図る。		① 体育連盟 16協会	目標年度	19年度
			目標値	16	
			実績値	16	
			達成度	100%	
		② スポーツ少年団 4協会	目標年度	19年度	
			目標値	4	
			実績値	4	
			達成度	100%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①体育連盟、スポーツ少年団への補助	予算・決算・実施事業等の実績報告を求め、内容を審査し補助する。 体育連盟 400千円 スポーツ少年団 140千円				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必 要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通して町民の交流を深めるとともに、将来の指導者を養成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がるため、これら団体を育成・支援することが必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有 効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	各団体の単位協会加入者は、年々減少傾向にあるが、現在体育連盟は16協会695名、スポーツ少年団は4協会101名(指導者含む)にて活動しており、町内外の各種大会へも積極的に取り組んでいる。
有効／概ね有効／課題あり		

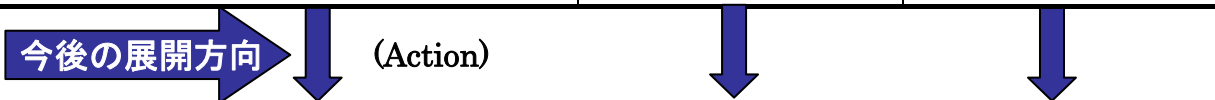
(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	平成18年度より約1/3を減額しており、これ以上の削減は、生涯スポーツの推進に支障が出る恐れがある。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を果たしている団体への補助は、生涯スポーツを推進するうえで重要である。		



継 続／現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに人と人、地域と地域の交流や親睦を深める最高の手段である。また、子ども達にとっても協調性や競争意識などを養える学習の場でもあり、今後もこれらの助成は継続すべきである。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-10

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	スポーツ大会推進事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
		職名		係長
		氏名		淡路 至尊
事業の概要	町民の健康維持、体力づくりの奨励とスポーツを通じて地域、世代間の交流・親睦を図るため各種スポーツ大会を開催する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登録事業 □非登録事業		
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進	
	事務事業の種類	■自治事務 □法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	333千円	321千円	409千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	325千円	305千円	402千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	大会等の参加者が年々減少傾向にある。		参加者数の確保								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	より多くの町民の参加		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民が何らかのスポーツを 実践し、仲間作りや各世代間 の交流を深める。		① 大会参加者数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>80%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	600	実績値	489	達成度
目標年度	19年度										
目標値	600										
実績値	489										
達成度	80%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知後申込受付、種目によっては参加者負担金の徴収を経て開催。 (オムリンピック、雪合戦、自治会対抗、キンボール、さわやかスポーツデー)										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	少子・高齢化が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行なわない町民も増えている。然るに少しでも多くの人々がスポーツにふれる機会を設けることが必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	平成19年度は主催した大会にて各世代489名の参加者があり、一部マスコミ (オムリンピック) にもとりあげられ町民にも浸透しつつある。
有効／概ね有効／課題あり		

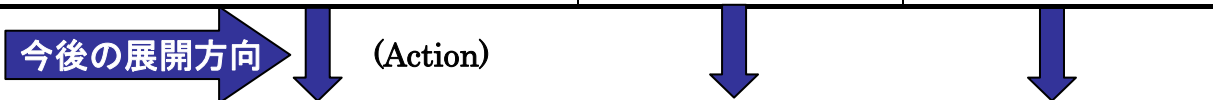
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	経費については、報償費、賞品代等努めて最小限の歳出で実施している。ただし、受益者負担の原則から参加費等の徴収も検討していくことが必要である。(一部大会は徴収)
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
大会の殆どは町民の衆知するところであり、一定の参加者も確保しているものの将来的には一部大会内容の変更も検討しながら進めていく。		



継続／現状維持		
スポーツは、健全な精神と健康な身体を養成し、心豊かな生活を過ごす上からも必要不可欠なものであり、今後も何らかのスポーツの機会を提供することは継続しなければならない。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-11

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	スポーツ教室推進事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				係長
				淡路 至尊
事業の概要	町民や学校週5日制による余暇時間の増えた子ども達に広くスポーツに親しむ機会や健康を維持する学習活動を提供するため、各種スポーツ・学習教室を開催する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業 □非登載事業		
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進	
	事務事業の種類	■自治事務 □法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	182千円	125千円	233千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	176千円	125千円	218千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	参加者の固定化・減少化		参加者								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	子どもから一般まで一人でも多くスポーツに親しむことを目指す。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	スポーツの楽しさ、健康の大切さ等を知ってもらう。		① 参加者	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>71%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	250	実績値	177	達成度
目標年度	19年度										
目標値	250										
実績値	177										
達成度	71%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①各種教室の開催	町広報、学校・新聞チラシ等による周知後申込受付、教員、体育指導委員、体育連盟等の指導者の協力などにより開催。(わんぱくスポーツ道場、さわやかウォークデー、AED講習会、ジュニアスクール、ブルームボール教室)										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	こどもから大人まで気軽にスポーツに親しむ機会が減少しており、生涯スポーツの推進を図るためにも各年齢層のスポーツ活動の参加を促進させる必要がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	一部教室では、サークル化が図られ事業終了後も活動している。また、楽しみにしている子どもたちも多い。
有効／概ね有効／課題あり		

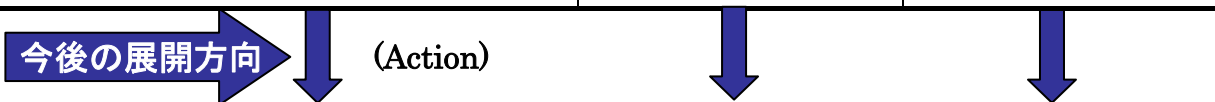
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	この種の教室は、指導者も町内関係者が主で比較的低予算で開催可能である。しかし、今後のニーズにより外部の指導者等を招聘する場合も想定され、流動的である。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
本事業は、町民の健康・体力づくりに寄与するためには必要な事業であり、今後も町民のニーズを把握しながら推進していく。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
20年度においては、町内の小学生を対象としたジュニアスクール (チャリーディング) を開設し、44名がレッスンに励んでおり、その成果を発表する機会も予定している。このことから教室の開催は、何かを学び、その成果を発表させることも狙いとしており、生涯スポーツ推進に本事業は欠かせないものである。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-12

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	自動体外式助細動器購入事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				職名
				係長
				氏名
事業の概要	自動体外式助細動器(AED)とは、心停止状態になった場合に心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す機器のことであり、平成16年7月より一般人でも取り扱いが可能となったところ、全国でこの機器により救命の事例が発生したため本町においても体育施設に設置するべく購入したものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	65千円	87千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	65千円	87千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題や二一ズは】	比較的高額のため財源確保		設置台数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	各体育施設数に準じた台数の確保		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	救急救命の初期段階に対応する		① 設置台数	目標年度	19年度
			目標値	1台	
			実績値	1台	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①自動体外式助細動器(AED)購入	随意契約(見積合せ)によりリース契約にて購入 (設置箇所 スポーツセンター)				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	この種の救命は、一刻を争う時間との勝負であり、救急車が到着するまでに蘇生に成功すれば約90%が助かるものである。このことから町民の生命を守るために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	19年6月購入以来、使用実績はないが使用しない方が好ましい。
有効／概ね有効／課題あり		

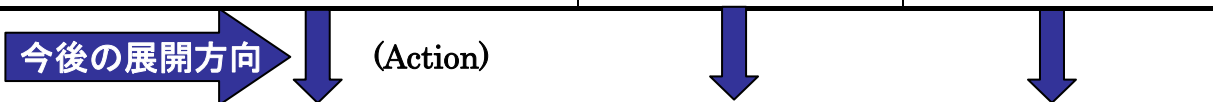
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	買取契約もあったが、付属品 (電極パッド、バッテリー等) の耐用年限もあり、別途料金が発生するため、これら付属品の補充などを含め無償に行なえるリース契約とした。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
使用実績はないが、町民の生命を守るために必要であり、今後のスポーツ事業を安心・積極的に進めることが可能となる。		



継続／現状維持		
現在はスポーツセンターに設置しているが、機器自体は近年の普及に伴い、価格的にも低下して来ており財源等の問題もあるが逐次整備して参りたい。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-13

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町スポーツ振興事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田伸雄	職名
				氏名
				係長
				淡路至尊
事業の概要	各種スポーツの全国・全道大会へ出場する個人又は団体へその経費の一部を補助する事業である。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業 □非登載事業		
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進	
	事務事業の種類	■自治事務 □法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	9千円	108千円	400千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	9千円	108千円	400千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題や二一ズは】	年度出場者の把握が困難のため、予算の確保。		大会出場種目の個人・団体数	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	スポーツ活動のよりレベルの高い競技意識の喚起。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	充実したスポーツ活動の推進、競技志向の高揚をめざす。		① 出場種目 個人	目標年度 19年度 目標値 2種目 実績値 1種目 達成度 50%
		② 出場種目 団体	目標年度 19年度 目標値 1種目 実績値 1種目 達成度 100%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①個人・団体への出場経費の補助	スポーツ競技における全国・全道大会へ出場する個人・団体からの申請書提出後、要綱に基づき審査の上助成する。			
②				
③				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	全国・全道大会は、開催地等により個人負担は増となる。これらの大会に出場することは、本町の PR 効果も十分に果たすものであり、一部の助成は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	全道大会以上に限られるため、出場種目は少ないが本町のスポーツ活動に良い刺激を与えていると考える。
有効／概ね有効／課題あり		

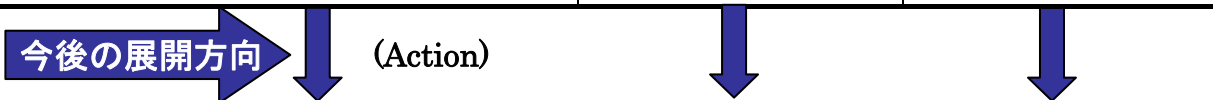
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	年度によって交付件数に増減があるものの、事業的には効率的に推移している。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
本事業は、本町の競技スポーツの向上に繋がっており、特に子ども達には競争意識の高揚にも効果がある。		



継続／現状維持		
スポーツ活動の推進とともにレベルの高いアスリート・将来の指導者の養成といった観点から今後も継続すべきである。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-14

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	ブルームボールコート造成・維持管理委託事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				係長
				淡路 至尊
事業の概要	冬期間の町民の体力向上・健康増進並びに、ブルームボールを普及・推進するためコートを作成し、その維持管理を雄武町ブルームボール協会に委託するものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	5	施設・備品の有効活用	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	968千円	696千円	1,000千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	968千円	696千円	1,000千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	ブルームボール人口の減少		造成コート数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	一人でも多くの参加。特に若年層をターゲットとする。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬季のスポーツ活動の奨励と健康増進に寄与する。		① コート数	目標年度	19年度
			目標値	1面	
			実績値	1面	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①コートの造成・維持管理	ブルームボール協会との随意契約により、コートの造成と維持管理を委託する。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	本町のブルームボールは、世界選手権にも出場し、日本のブルームボール界をリードする存在である。若年層が行なうスポーツで、本町の若者も積極的に参加しており、今後も必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	20年度も世界大会に出場が決定しており、充分効果は得られている。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	19年度からは隔年で、2面から1面のコート造成に縮小しており、維持管理の経費も削減に努めている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	
全日本のカテゴリーでは常にトップを狙う実力があり、本町のスポーツ活動では突出している。今後も同協会に委託し、管理することが重要である。		



今後の展開方向	(Action)	
継続／現状維持	継続／現状維持	
本町の若年層の人口の減少など根本的な問題を抱えているが、現在も実績をつくっており、本町の冬季スポーツの柱として支援して行くべきである。	コートの2面造成は隔年となっているが、2面の必要性を考えること。指標・目標の設定を今後成果として考えること。	

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-15

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	宮の森・風の丘パークゴルフ場維持管理委託事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				職名
				係長
				氏名
				淡路 至尊
事業の概要	町民の健康増進に寄与し、パークゴルフ場の良好な状態を保持する為雄武町パークゴルフ協会にその業務を委託する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	5	施設・備品の有効活用	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	2,289千円	2,247千円	2,250千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,289千円	2,247千円	2,250千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	一部公園内にあるため、公園利用者との調整。										
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	多くの町民の利用。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各年代層の交流と親睦を図る。		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①パークゴルフ場の維持管理	雄武町パークゴルフ協会との随意契約にて、維持管理業務を委託している。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	近年のパークゴルフは、活動の手軽さもあり、愛好者も高齢者を中心に増加している。町民の健康増進・交流の場として活用されている為、本事業は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本事業は、パークゴルフに精通している雄武町パークゴルフ協会に委託しているが、コースの状態も良好で利用者からの評判も良い。
有効／概ね有効／課題あり		

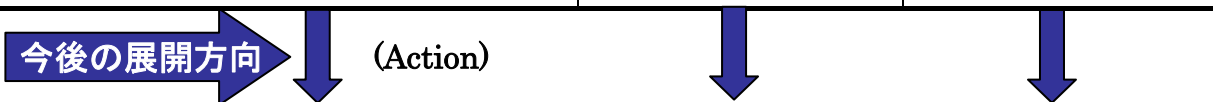
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	業務の性質上、人件費が主な経費であり、コストを下げる為には効率の良い作業が必要となる。今後、業務の内容等協会との協議を実施していく。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
当該パークゴルフ場は、高齢者を中心に社交場ともなっており、町民の親睦や健康増進には必要不可欠な施設である。		



継続／現状維持		
最近は、町外からの問い合わせもあり、その利用者も増えている。ある程度の経済効果も期待されることから、今後も継続していく。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-16

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	ファミリースポーツセンター・武道センター・学校体育館管理委託事業			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名 課長 氏名	安田 伸雄	作成者 職名 係長 氏名
事業の概要	本町の生涯スポーツの推進に寄与すべく主要な体育施設の適正な管理を民間業者に委託するものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登録事業		□非登録事業
	政策目標	3	のびやか・雄武 ～教育・文化の振興～	
	基本政策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
	単位施策	5	施設・備品の有効活用	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	2,671千円	2,331千円	2,720千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,671千円	2,331千円	2,720千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化		年間利用者数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	利用者数の増加		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を實現したいか】 ※成果=目的	本町のスポーツ活動の活性化と健康増進を図る。		① スポーツセンター 年間利用者数	目標年度	19年度 目標値 10,000人 実績値 9,572人 達成度 96%
		② 武道センター、体育館 年間利用者数	目標年度	19年度 目標値 5,000人 実績値 4,878人 達成度 98%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①各体育施設の管理委託	指名競争入札により業者を決定し、各維持管理業務を委託				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	各施設において不特定多数の出入りがあり、利用受付、備品貸出しなどの業務が発生するため、管理人の常駐は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	施設の適正かつ安全管理に充分注意しており、ある程度良好な状態を保持している。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	13年度より民間委託を実施し、経費の(人件費)削減につとめている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当
 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
従前の職員配置と比し、経費の削減となり、町民からの苦情も殆どない。		



継続／現状維持		
本町のスポーツ活動を支える基幹施設であり、町民の憩いの場でもあり、生涯スポーツの推進には欠くことのできないものであるため、今後も継続すべきである。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-17

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	武道センター床改修工事			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				職名
				係長
				氏名
				淡路 至尊
事業の概要	昭和47年の開設以来、老朽化が著しい武道センターの床部分について、平成15年に実施した残り半面を改修するものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	3,150千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	3,150千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化		改修面積								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	安全・安心な施設利用		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	円滑なスポーツ活動の実施		① 改修面積	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>182.8 m²</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>182.8 m²</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	182.8 m ²	実績値	182.8 m ²	達成度
目標年度	19年度										
目標値	182.8 m ²										
実績値	182.8 m ²										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①床改修	指名競争入札により実施。A=182.8 m ²										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	施設所有者が実施するのが妥当である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	施設に対する安全が向上し、伸び伸びとした活動が見受けられる。
有効／概ね有効／課題あり		

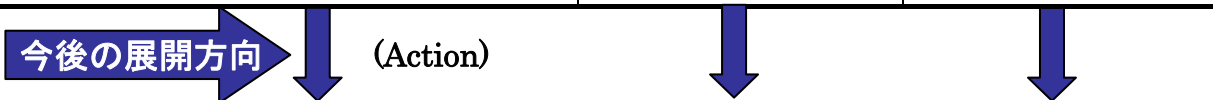
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	改修に当たっては指名競争入札方法にて実施しており、概ね効率的と思われる。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

〔 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 〕

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
施設を利用する人々にとって、安全に使用できることが最も重要であり、施設が原因によるケガや事故は許されないものである。		



終了		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 11-18

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	スポーツセンター高圧区分開閉器取替工事			
評価者	担当課・係名	教育委員会 社会教育課 体育振興係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	安田 伸雄	氏名
				係長
				淡路 至尊
事業の概要	高圧区分開閉器は、スポーツセンター開設時より設置しており、正常な受電に支障を来していた為、取替えるものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	515千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	515千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	設備の老朽化		高圧区分開閉器								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	正常な受電		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	施設の安全を図る		① 高圧区分開閉器	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1器</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1器</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	1器	実績値	1器	達成度
目標年度	19年度										
目標値	1器										
実績値	1器										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①高圧区分開閉器の取替	町内業者との随意契約										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	管理者は、常にその設備の安全管理に努め、適切に対応しなければならない。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	正常受電で順調に推移している。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	本工事は、備品単価が主な工事費の中に占める割合が高い。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

〔 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 〕

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
施設の適正かつ安全管理は、管理者の責務である為、重大な事故等に繋がる恐れのあるものは迅速に対応しなければならない。		



終了		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項